

2020 年度日本海洋学会第 5 回幹事会議事録

日時:2021 年 1 月 19 日(火)13:30~16:30

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、安藤、梅澤、江淵(途中から参加)、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、西部、三角、安田、安中、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2020 年度第 4 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

2020 年 9 月から 10 月の入会者(22 名)と退会者(5 名)が承認された。2020 年 11 月末時点の会員数は、1493 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について 4 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦 7 件、シンポジウム・講演等 2 件、その他 5 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信されたことが報告された。

(4) 2021 年度「青い海助成事業」募集要領案について(梅澤幹事)

募集要領案について確認し、承認された。

(5) JOS ニュースレター編集委員の交代について(安藤編集委員長)

JOS ニュースレター編集委員の交代について提案され、承認された。

(6) JO 編集委員の交代について(江淵編集委員長)

JO 編集委員の交代について提案され、承認された。

(7) 処理水の海洋放出への海洋学会の対応について(乙坂幹事)

福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会が主催で、2020 年 11 月 25 日に行われた、資源エネルギー庁 ALPS 処理水説明会の説明内容について報告された。報告の内容を踏まえ、海洋学会の対応について協議した。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

文科省の大学共同利用機関の認定更新審査が予定されており、各機関からの海洋学会へのサポートレターの要請について、順次対応していることが報告された。

2021年1月14日に防災学術連携体による東日本大震災10周年のシンポジウムがあり、学会の取り組みについて会長から紹介したことが報告された。また、防災学術連携体については、升本順夫、丹羽淑博の両会員に長期にわたり対応いただいております、幹事会としての対応を検討する必要があると認識していることが述べられた。

(2) 副会長(伊藤副会長)

水産研究・教育機構の坂本達也会員が第37回井上研究奨励賞を受賞したことが報告された。

(3) 庶務(岡幹事、乙坂幹事)

幹事の引継ぎに向けて、各自担当分の引き継ぎ資料を更新するよう周知された。

海洋学会で契約しているZoomアカウントを次年度も継続することが報告された。

(4) 研究発表(西部幹事、川合幹事、梅澤幹事)

2020年度秋季大会の実施概要について報告され、それを受けた今後の課題、大会のアンケート結果について報告された。

2021年度春季大会、秋季大会の予定について報告された。

(5) 選挙(安田幹事)

2021年度、2022年度役員選挙投票結果について報告された。

(6) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 75(1)からVol. 77(1))の発行状況、投稿・受理状況について報告され、特集セクションの発行の見通しについて報告された。

② 海の研究(神田会長、吉田編集委員長の代理)

海の研究の第30巻1号が2021年1月25日に発行予定であることが報告された。第30巻2号が2021年3月15日に発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(安藤編集委員長)

JOSニュースレター(第10巻4号)は予定通り2021年3月上旬に発行される予定であることが報告された。2021年度に80周年特別号を出版する計画について確認された。

(7) 広報委員会(安中幹事、帰山幹事)

2020年度秋季大会の授賞式の写真の学会ホームページへの掲載について報告された。

学会ホームページから問合せのあった一般の方からの質問について、JAMSTEC の渡部裕美会員に対応頂いたことが報告された。

学会ホームページの保守契約の継続について報告された。

(8) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

委員の任期変更の検討状況について報告された。

(9) 教育問題研究会(安中幹事)

2020年11月21日にオンラインで実施されたサイエンスアゴラについて報告された。

(10) 海洋生物学研究会(西部幹事)

2021年3月20日～21日の日程で、海洋生物シンポジウムがオンラインで開催される予定であることが報告された。

運営委員会の体制が変更になり、会長は水産研究・教育機構の田所和明会員、副会長は横浜国立大の下出信次会員になったことが報告された。

(11) JpGU(三角幹事)

JpGU 2020年度第4回理事会の情報(東塚会員からの情報提供)について報告された。

JpGU 2021年大会のスケジュールについて報告された。

(12) 震災対応(乙坂幹事)

2021年1月14日に日本学術会議と防災学術連携体の共催で開催されたシンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから」において神田会長が講演を行った事が報告された。

(13) 研究に関する将来構想 WG(岡幹事)

研究に関する将来構想WGの進捗状況について報告され、2021年3月末までに各グループで総説論文の原稿を取りまとめる予定であることが報告された。これらの論文は日本海洋学会が特集を企画・立案するものとして取り扱うこととなった。

(14) 男女共同参画(安中幹事、伊藤副会長)

2020年12月14日に男女共同参画学協会連絡会の総会と運営委員会が開催されたことが報告された。

(15) 水産・海洋科学研究連絡協議会(神田会長、北出幹事の代理)

2020年12月2日に水産・海洋科学研究連絡協議会の委員会が開催され、参加学会の活動報告と、来年度の秋に開催される日本学術会議のシンポジウムについて意見交換が行われたことが報告された。

(16) 若手支援(伊藤副会長)

2020年度第4回幹事会で決定した若手会員メーリングリストの運用方針に基づき、全学生会員のメーリングリストへの登録と、学会入会申込みフォームの改定が行われたことが報告された。

日本海洋学会若手研究者向けセミナーの第3回までの開催状況について報告された。また、今後の予定について報告があり、年度内に予定通り6回開催できる見通しであることが報告された。

(17) 次期以降役員選挙について(伊藤副会長)

次期の役員選挙に向け、ダイバーシティを確保するための方策についてブレインストーミングを行った。今後も継続して議論することとなった。

(18) リモートセンシングタスクフォースの報告について(神田会長)

リモートセンシングタスクフォースについて報告された。

(19) 防災学術連携体(神田会長)

防災学術連携体の一般社団法人化について報告された。

以上